

# 地方創生「地」知連携で

## 上越市で国土政策フォーラム



上越市と関わりの深いパネリスト6人

地域と大学が連携し、「上越」がら日、上越教  
地方創生の方策を考える 育大で開かれた。国土交  
「国土政策フォーラム」 通管と上越市主催。

「地」と「知」の連  
携による人材育成と地方  
創生と題し、パネル  
ディスカッションが行わ  
れた。上越教育大の石野  
正彦学校教育実践研究セ  
ンター長、長岡技術科学  
大の中出文平副学長、東  
京農業大国際食料情報学  
部の鈴木源太郎准教授、  
法政大デザイン工学部の  
渡辺真理教授、国土交通  
省の北本政行大臣官房審  
議官、村山秀幸市長の6  
人がパネリスト、信州大  
の笹本正治地域戦略セン  
ター長がコーディネー  
ターを務めた。

各大学は、同市と連携  
した取り組みを発表。法  
政大の渡辺教授は、廃校  
になった蒲川原区の月影  
小を体験交流型宿泊施設  
に改修したことなどを紹  
介した。「農村ワーキン  
グホリデー」を紹介した  
東京農業大の鈴木准教授  
は、「学生は『自主的な  
のか』『単位が付くのか』  
で課題に向き合う姿  
勢が違う。自ら手を挙げ  
た学生をどれだけ大事に  
できるか」と問題点を挙  
げた。また、学生を即戦  
力とするには、作業や作  
物が限られてしまうこと  
や、大きな負担となる交  
通費の問題にも触れ、大  
学と地域が連携する上で  
の課題を示した。

北本大臣官房審議官  
は、大学が地域に貢献す

る取り組みについて「上  
関係。大学は、地域の  
から目標の『貢献』では  
人々との対流によってイ  
ない。大学にとってもメ  
ノベーション(新機軸)  
を生み出す場でもある」  
in(ワインウイン)の  
と述べた。

### 上越タイムス

2016年3月8日(日刊)2面